

## NPAFC ニュース・リリース

### 北太平洋溯河性魚類委員会第 22 回年次会合の開催

2014 年 5 月 16 日、米国オレゴン州ポートランド。

2014 年 5 月 12 日から 16 日まで、米国オレゴン州ポートランドにて、北太平洋溯河性魚類委員会 (NPAFC) 第 22 回年次会合が開催されました。NPAFC は北太平洋及び隣接海域におけるさけ・ます類の保存を促進する国際機関であり、科学調査及び取締活動の協力及び調整の場となっています。北太平洋におけるさけ・ます類の殆どの漁獲は NPAFC 締約国 (カナダ、日本、韓国、ロシア、米国) に由来するものです。委員会の年次会合では、全体会議及び 3 つの小委員会 (取締、科学調査統計、財政・運営) が開かれました。

委員会締約国は北太平洋の公海においてさけ・ます類の違法漁獲を排除すべく、合同取締を成功裡に続けています。締約国取締当局の代表者達は、パトロールの効果、効率性を高めるため、詳細な調整と情報共有の議論、計画を行いました。2013 年におけるパトロール及び監視の取組みでは、NPAFC 条約水域におけるさけ・ます類の違法操業船の発見、拿捕はありませんでしたが、これは委員会の合同取締モデルの効果の表れと言えます。

委員会の会合期間中に、締約国の指導的研究者が公海及び隣接海域における太平洋さけ・ます類の新しい科学的知見を検討しました。アラスカ湾、ベーリング海、北西太平洋及びオホーツク海のさけ・ます類の調査計画の概要が発表され、調査計画は締約国間で調整されました。

委員会は、北太平洋におけるさけ・ます類の研究への知見及び保存への指導的かつ持続的な貢献を認め、キャサリン・メイヤーズ博士 (元ワシントン州立大学) を 2014 年 NPAFC 賞の受賞者とする と発表しました。

さけ・ます類のタグの NPAFC への回収を促すため、委員会は、タグを回収してくれた一般の人々のためにタグくじを実施しました。日本、ロシア及びアメリカから全部で 7 の応募があり、1 等 500 カナダドルの当選者は米国のブルジョアさん、2 等 300 カナダドルはロシアのタイブラトフさん、3 等 200 カナダドルは日本の長谷川さんでした。

会合では、その役職を離れるウラジミール・ベリャエフ議長 (ロシア)、岡本純一郎副議長 (日本)、小委員会議長のゲーリー・スミス (米国)、パク・ジョンセオク (韓国) 及びマーク・ソンダー (カナダ) といった役員 の NPAFC への献身に対する謝意が示されました。

NPAFC は今後 2 年間役職に次の役員を歓迎しました。岡本純一郎議長（日本）、テリー・ブラウン副議長（カナダ）、小委員会議長のパク・ジョンセオク（韓国）、アレクセイ・モナコフ（ロシア）及びローリー・ロー（米国）

#### NPAFC について

NPAFC は、北太平洋及び隣接海域におけるさけ・ます類（シロザケ、ギンザケ、カラフトマス、ベニザケ、マスノスケ、サクラマス及びスチールヘッド）の保存を促進する国際機関であり、科学調査及び取締活動の協力及び調整の場となっています。NPAFC 条約水域は北太平洋、ベーリング海及びオホーツク海における北緯 33 度以北の公海です。NPAFC 締約国は、カナダ、日本、韓国、ロシア及び米国です。